

全 教 学校司書部

ニュース No.134
2016. 9

E-mail toshokan@educas.jp

このニュースは増し刷りして
学校司書のみなさん
にお配りください。

第28回定期総会・全国学校図書館学習交流集会



7月30～31日、名古屋市にて、64名の参加を得て、第28回定期総会・全国学校図書館学習交流集会が開催されました。今回は、参加者の感想を中心に報告します。詳細は、後日発行予定のタブロイド版学校司書部ニュースで報告いたします。

定期総会

2015年度活動のまとめ、2016年度運動方針・予算案・役員改選などの議案が提案され、昨年8月から開催されている「学校図書館の整備充実に関する調査研究協力者会議」についても報告がありました。討論では、採用・配置等各県の状況について発言がありました。

★新役員です。よろしくお祈りします★

部長	好岡 和男 (大阪)	常任委員	戸田 多津子(福島)
副部長	坂田 洋一 (富山)	常任委員	小此木みのり(埼玉)
副部長	笹橋 千里 (岐阜)	常任委員	河野 仁美 (長野)
事務局長	小川 智子 (埼玉)	常任委員	稲岡 寿美子(兵庫)
		常任委員	白川 典子 (高知)

採用試験が再開された話は元気が出ました！
(大阪府：高校)



もう少しつっこんだ制度問題に関する議論はどこですのかな？と思った。分散会でも話しかけたけど、全体の場で話し合う機会があったほうが良くないですか？(京都：高校)

☆今年も以下の署名にとりくみます。
「専任・専門・正規の学校司書の配置を求める
請願署名」

「学校図書館の充実を求める署名」
●各都道府県でのとりくみをお願いします。
集約●第一次：11月25日
●最終：1月31日

2名の司書の採用があったことを報告することができたが、その反面恵まれていると思っていた他県の状況だったのに、非正規化が進んでいる、予算が大幅に削減している、などと報告され、愕然とした。以前(4年前？和歌山での総会)に参加した時に比べ、質疑応答もなく、おとなしいというか、活発な感じが少ないように感じた。その時は、不慣れながらも議長をつとめました。各県からの意見が多く、白熱し、まとめるのに苦労しました。(秋田：高校)

学習交流集会

記念講演「映像から形 形から映像」

木村昭平さん(絵本作家)



「映像が形化しているのがプロパガンダ」「映像は一人ひとり違っている」など、独特の語りでした。

たいへん刺激的な講演となりました。具体と抽象について、皆が同じ方向を向くことへの懸念など、今日的な課題と大きく絡む内容となり、考えることの多いひとときとなりました。ありがとうございます。
(埼玉：高校)

う～ん、ユニークと言ってよいのでしょうか？図書館という形はみんな受けとり方が違っていい。本を読んでいろいろ考え、想像する子どもに育てたいです。(大阪：高校)

分散会

今年度の共通テーマは、「図書館マナー」でした。また、それぞれの分散会で、学校図書館職員対策部の「非正規アンケート」の報告がありました。

★第1分散会 レポート

「オリエンテーションで広げる図書館活用」(平川幸恵・秋田高)
「公共図書館との連携を少しだけやってみた」(深澤安芸子・京都高)
「生徒図書委員会との10年」(吉崎康子・大阪高)
「明日の出勤が楽しみになる研修を」(朝倉久美・長野高)
「全教学校図書館職員対策部・非正規アンケートの報告」(畑山和則・対策部)

(第1)長野県最強の図書委員長(現在は大学生)の参加は嬉しかったです。「司書になりたい」と思っている彼女の想いを大事にしたい、実現させてあげたいな、と思います。正規採用の場を広げてほしいです。(京都：高校)

(第1)4回のオリエンテーション実施には、1回で満足している自分が恥ずかしくなりました。新採者への研修のとりくみ、初めてお聞きして、研修係が内容・資料を自ら考え、実施されているのに驚きと、頭の下がる思いでした。いつもすばらしい実践を紹介してもらえて、参加してよかったと思います。(和歌山：高校)



★第2分散会 レポート

「北海道特別支援学校図書館実態調査」(畠山佳代・北海道高)
「除籍の「見える化」」(宮崎健太郎・埼玉高)
「図書館へ来ない生徒を図書館利用につなげるために」(倉本艶子・和歌山高)
「学校によってゆれる”司書”の立場」(川嶋凧砂・滋賀高)
「全教学校図書館職員対策部・非正規アンケートの報告」(井深晴夫・対策部)

(第2) 印象的なレポートが盛りだくさんで、学びの多い分散会でした。特に、井深さん、当日参加された非正規の方の報告は考えさせられました。多くの方への調査と丁寧なまとめに敬意を表するとともに、ご自身の仕事について、直前の依頼に応じて話して下さった非正規の方に深くお礼申し上げます。
(埼玉：高校)

(第2) どのレポートも大変示唆に富む、興味深い内容でした。昼休みイベントと除籍については、さっそく自校業務に活かしていきたいです。
(滋賀：高校)

★第3分散会 レポート

「読み聞かせ講習をやってみた」(藤谷千尋・京都高)
「明るい図書館をめざして」(林夕賀・愛知高)
「富山県議会 学校司書に関する請願を全会一致で採択！」(和田裕子・富山高)
「群馬県高校 学校司書の歴史」(田中博・群馬高)
「全教学校図書館職員対策部・非正規アンケートの報告」(桑原敦文・対策部)

(第3) レポートが多くてうれしい反面、もう少し時間をかけて内容を深めたいと思う。今年は時間が短かったので、絞り込みも仕方ないけどやるべきか？
マナーがテーマでしたが、そのなかで、福島「地震のときの注意」のようなものが参考になった。防災、避難訓練で図書館はいつもカヤの外(?)なので、他の県の図書館の実状も知りたいと思った。
(群馬：高校)

(第3) 実践報告が少なかったのが残念です。富山の県議会への請願がすばらしいと思った。愛知の司書の、臨探・兼務にも関わらず、どんどんと図書館を改善していらっしゃる姿に頭が下がりました。群馬の司書の細かい歴史を編纂し直す作業はなかなか大変だったと思います、すばらしい！もう一度京都府でも、数値的なことを調べ直してみたいが、一。(京都：高校)

閉会全体会

各分散会報告、初参加者からの感想、集会まとめの後、次回開催地・東京の担当、関東甲越ブロック常任委員の小此木さんからあいさつがあり、終了しました。

(閉会全体会) 他の分散会のレポートも詳しく聞きたいことがいっぱいあった。(群馬：高校)

来年は東京で！

(全体で) 日程はよかったです。愛知県、岐阜県、富山県、長野県の皆さま、ありがとうございました。役員の皆さまもありがとうございました。会場は便利な場所で良かったです。

ちょっとレポートが少ないなあと思いました。組織外の人や若い人を誘いにくくなってしまおうような気はします。
(京都：高校)

(全体で) 地元並びに司書部を含む本部のみなさん、お疲れさまでした。山田さん、長い間の役員、本当にご苦労さまでした。
(高知：中学校)

「みんなで21世紀の未来をひらく教育のつどい2016」in 静岡

8月19~21日、静岡市において開催された「教育のつどい(教育研究全国集会)」は、教職員・父母・市民など、のべ5000人の参加がありました。

第23分科会「文化活動・図書館」には27名(10本のレポート)の参加があり、全体会で「地域とつながって受け継ぐ戦争体験 5年生の活動」(東京都教組・大友育子)、「図書館をリソースとしたアクティブラーニングの実践 生徒と教員の協同作業で進める学修活動」(静岡高・丸木千草)の実践報告がされました。図書館の小分科会では、読んでよかった本について語りつながり思いを共有することをめざした、生徒図書委員会での取り組み「ビブリオバトルをやってみよう」(高知高・藤田智子)、不読率が上がり軽読書が進む生徒たちへの働きかけとして、「新入生アンケート その傾向と対策」(京都高・井上伸)の報告がありました。そのほか、「やる気を育てるビブリオバトル! 図書委員会ビブリオバトル大会を通じて」(滋賀高・沢井洋子)、「有効な図書館PR・広報活動を考える」(埼玉高・田沼澄子)の取り組みも報告されました。

《参加者の感想》

・ビブリオバトルの報告についての討論を通じて、学校図書館の役割と一方で様ざまな期待を寄せる生徒を受け入れなければならないことへの限界を認識することができた。不読やコミック文化といった活字離れのなか、いかにして生徒に図書館へ足を運んでもらうのか真剣に考えることができた。

(愛知・内田武司)

・統制管理が進む公教育が失いつつあるものに文化活動があり、フリースペースや休息する(何もなくていい)権利などと、相対するものとして出会いの機会・体験の提供などの教育上の働きかけがあることなど、いろいろ考えさせられました。(富山・坂田洋一)

